

工賃アップに向けて、私たちの意識や感覚を変えます！

「障害者年金だけでは暮らせない」「5万円ほど稼げれば好きな物が買える」これが、親御さんから援助してもらえない障がい者の方々の切実な願いです。工賃アップを実現するには、他の店やコンビニ等の大企業と競争しながら「売上」や「純利益」をあげる必要があるのですが、福祉職員にとっては支援をしながら同時に進める事になりますので、時間的にも感覚的にも難しい点です。まずは、田中理事に入ってもらい、広告や飲食関係の業者とコラボし、私たちの意識や感覚を変えながら進めているところです。（常務理事 馬場 篤子）

生産部門

今年も、1月21～25日の5日間、福岡三越の催事場において、県内外の59箇所の福祉事業所が各々の商品を販売する「まごころ製品大規模販売会」に出店しました。今年で、3回目の出店となります。各事業所の商品も年々レベルが上がっているのを実感します。

今年は、過去2回の経験から学び、夢クッキーのパッケージを変えて販売し、売上げを伸ばすことができました。このようなイベントに参加することは、他事業所の商品を見ることで刺激を受けますし、売り場でのディスプレイの仕方・試食の出し方など工夫・試行する、とても良い機会となっています。

お客様のニーズも年々変わる中で、私たちもこのままではいけないと思い、今年度は既存商品の洗練化や安定した味の提供、パッケージの見直し、ニーズのある商品づくりに日々取り組んでいます。このような取り組みを利用者の工賃アップに繋がりたいと思いますし、今後ともシャイニングで皆様にお伝えしていきたいと思ひます。（生産部門主任 野上 真紀子）



夢工房

夢工房がクッキーの販売を始めてから25年が経ちます。松尾さん、松村さんなどこれまで携わってこられた方々の試行と努力の積み重ねで、夢クッキーやバナナケーキなど自信を持っておすすめできる商品が誕生してきました。現在、さらに幅広い方々に手に取っていただくために、どのようなパッケージや内容量、金額が良いのか、少しずつではありますがいろいろと取り組み、販売しています。

また、お店では勿論ですが、福岡三越の「まごころ製品大規模販売会」などのイベントに参加する機会に、お客様の反応を観察し、多くの点を学んでいます。やはり見た目でも商品を手にとられることが多い点から、商品の良さを生かしつつお客様が求める姿とは何かを模索しているところです。「こんな感じのものがほしい」や「こんなものがあつたらいい」など、ご意見をいただけたらと思ひます。

今後ともご協力をお願い致します。

（夢工房 増崎 友見）



出会いの場 ポレポレ

節分の日、活動で散歩をしている時、利用者が顔を上げ「空が見える」と言いました。私もはっとして思わず空を見上げ、「きれいね」と言いました。本当に光まぶしく澄み切った青空

で、幸せをいただいた瞬間でした（*_^*）

今年度のまとめの個別支援のモニタリングをさせていただく時期になりました。一人ひとりにとってポレポレでの活動が楽しいものであったか？居心地は？困った事はなかったか？ご本人たちの思いを、ご家族とも一緒にお話しできたらと思ひます。班担当スタッフが同席することは難しいのですが、利用者が主体者となるという座標軸を見失わないように進めていきます。できることの範囲は限られていますが、実現できる実感を感じてもらえるように努力していきたいと思ひます。

何よりも、日頃から相談できる関係をつくることで、より深めていけると思ひます。どうぞ宜しくお願いいたします。（サービス管理責任者 上村 千尋）

安武 そら豆

安武そら豆の販売、4月から始まります！！

昔、安武町はそら豆の栽培が盛んで、「やすたけ豆」と言われていたほど。「安武町の農業振興のお役に立ちたい」と始めた、「やすたけ豆復興作戦」も4回目の春を迎えようとしています。

昨年の秋、畑に植えたそら豆の苗は、順調に育ち、現在背丈は50センチほど。紫色の花も咲いています。



今、行っている作業は温度調整のためのビニールの開閉と、豆の成長を良くするための脇芽・花摘みです。毎日寒い中、利用者もスタッフも頑張っています。

収穫は4月中旬の予定。1箱（2kg入り）2,500円で、既に予約受付を始めました。

大切な人や遠方の知り合いに春の香りを送ってみませんか？たくさんの注文をお待ちしております。

（ポレポレ 石橋千鶴）